

第53期中間報告書

2013.10.1 - 2014.3.31

INATOR CREATIVE  
MARKETING  
COORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR  
CREATIVEMAR  
CREATIVE  
MARKETING  
COORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR  
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR



株式会社 シイエム・シイ

本 社  
〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号  
TEL (052)322-3351(代表)

<http://www.cmc.co.jp/>

証券コード:2185

株式会社 シイエム・シイ

## 心動かすマーケティング。

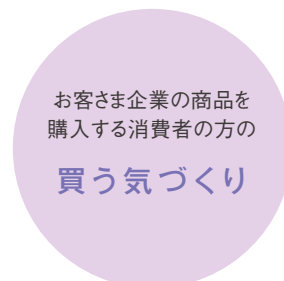
お客さま企業の「売る気づくり」「買う気づくり」「満足づくり」をサポートする3つのマーケティング活動をワンストップ・ソリューションとしてご提供するとともに、最新のICT\*を融合させ、お客さま視点での満足度を追求した付加価値の高いサービスを提供いたします。

### インターナル・マーケティング Internal Marketing



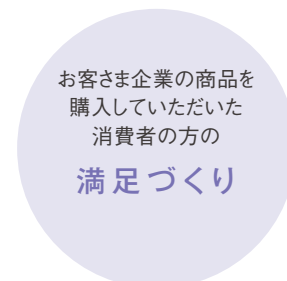
+ ICT 膨大な文書データ・製品情報の管理

### エクスターナル・マーケティング External Marketing



+ ICT スマートデバイスを活用した販売支援

### カスタマーサポート・マーケティング Customer Support Marketing



+ ICT マニュアル編集効率化アプリケーションのご提供

お客さま企業のニーズにこたえ、ICTを駆使したソリューションをご提供しております。

\* ICT:Information and Communication Technology

### 当社開発商品 活用手法のご紹介

## Smart XML Creator®

スマートデバイス対応 コンテンツ作成ツール

構造化文書をデータベース管理。

編集・翻訳・アウトプットも最新メディアに合わせて、思いのままに。

スマホで見やすい「カーナビ取扱説明書アプリ」を生成。

- 取扱説明書をアプリ化し、車載ナビと連携。
- 困った時のFAQやキーワード検索も可能。
- シチュエーション別の「やりたいこと」をタップすると、アプリが使用者の代わりにナビを自動操作。



\*概念図

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社を取り巻く環境は活況の様相を呈しておりますが、当社としましてはこれに気を緩めることなく、既存ビジネスの安定的な取り組みと新規案件の積極的な展開に努め、確実に業績を達成すべく活動してまいります。

現状は、ICT・グローバル・人財育成の3つのテーマを軸として、従来業務の深化、および新市場への参入を果たすべく、邁進中であります。

さて、ここに当社グループ第53期第2四半期累計期間(2013年10月1日から2014年3月31日まで)の事業概況についてご報告させていただきます。



代表取締役社長 佐々 幸恭

### 海外向け案件好調により、増収・増益

当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,119百万円(前年同期比939百万円増、同13.1%増)、営業利益は715百万円(前年同期比345百万円増、同93.4%増)、経常利益は757百万円(前年同期比349百万円増、同85.7%増)、四半期純利益は481百万円(前年同期比277百万円増、同135.7%増)となりました。

売上高につきましては、エクスターナル・マーケティングにおいて住宅関連分野における販売促進施策案件の減少などがあり微減となったものの、インターナル・マーケティング、

カスタマーサポート・マーケティングにおいては、前年同期比増加の結果となっております。インターナル・マーケティングでは特に、自動車関連分野における商品教育施策案件の増加、業務支援システム導入案件の増加などがありました。また、カスタマーサポート・マーケティングでは、技術マニュアル制作案件の前年同期比増加により、上記の結果となりました。

利益面につきましても、売上高の増加に伴い利益の絶対額が増加し、前年同期比増加の結果となりました。

## 事業分類

マーケティング事業 株式会社シイエム・シー、丸星株式会社、Maruboshi Europe B.V.、広州国超森茂森信息科技有限公司

### インターナル・マーケティング Internal Marketing

お客さま企業の従業員を

**「売る気にさせる」**

スタッフのセールス・サービス業務の標準化や、  
商材教育・販売教育・技術教育等の企画・運営

### エクスターナル・マーケティング External Marketing

お客さま企業の商材を魅力的に訴求し、消費者を

**「買う気にさせる」**

販売促進や広告宣伝、広報等の企画・運営

### カスタマーサポート・マーケティング Customer Support Marketing

お客さま企業の商材を購入いただいた方に

**「満足していただく」**

使用説明書や修理書等、技術情報の企画・編集・制作および翻訳

### トータルプリンティング Total Printing

お客さま企業の商材に関するマニュアルに特化した

**「印刷サービスを提供する」**

使用説明書や修理書等の印刷・製本・加工

### その他 Other

コンビニエンスストア店舗経営等

システム開発事業 株式会社CMC Solutions

お客さま企業のICT\*に関する課題解決を

**「トータルで支援する」**

システムに関するコンサルテーション・構築・運用サポート

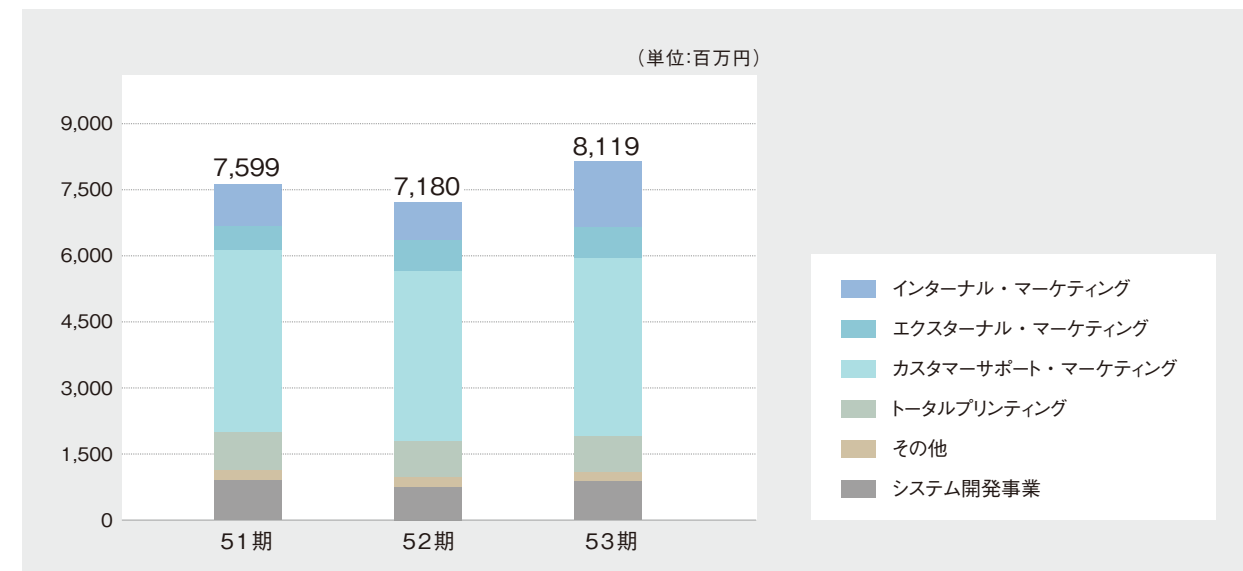
\* ICT:Information and Communication Technology

第2四半期連結累計期間 事業分類別売上高推移

(単位:百万円)

	51期		52期		53期	
	売上高	割合	売上高	割合	売上高	割合
インターナル・マーケティング	949	12.5%	846	11.8%	1,487	18.3%
エクスターナル・マーケティング	539	7.1%	703	9.8%	696	8.6%
カスタマーサポート・マーケティング	4,114	54.1%	3,839	53.5%	4,026	49.6%
トータルプリンティング	855	11.3%	803	11.2%	813	10.0%
その他	223	2.9%	239	3.3%	205	2.5%
マーケティング事業	6,682	87.9%	6,431	89.6%	7,230	89.0%
システム開発事業	916	12.1%	748	10.4%	889	11.0%
合計	7,599	100.0%	7,180	100.0%	8,119	100.0%

(単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 業績の状況

## ■ マーケティング事業

売上高 **7,230**百万円 営業利益 **763**百万円

インターナル・マーケティングは、自動車関連分野における商品教育案件の増加、同分野における業務支援システム案件の増加などにより、売上高は1,487百万円(前年同期比641百万円増、同75.8%増)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、自動車関連分野におけるブランドイメージ向上支援案件の増加があったものの、住宅関連分野における販売促進案件の減少などがあり、売上高は696百万円(前年同期比6百万円減、同0.9%減)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、自動車関連分野において、修理書案件の減少があったものの、連結子会社各社において使用説明書案件の増加があり、売上高は4,026百万円(前年同期比187百万円増、同4.9%増)となりました。

トータルプリンティングは、自動車関連分野における使用説明書の印刷案件の増加があり、売上高は813百万円(前年同期比10百万円増、同1.3%増)となりました。

その他については、コンビニエンスストア店舗閉鎖に伴う減少があり、売上高は205百万円(前年同期比34百万円減、同14.2%減)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は7,230百万円(前年同期比798百万円増、同12.4%増)、営業利益は763百万円(前年同期比319百万円増、同72.0%増)となりました。

## ■ システム開発事業

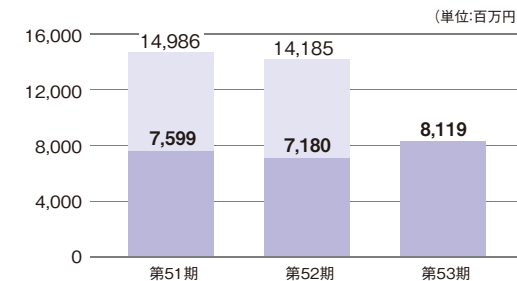
売上高 **889**百万円 営業利益 **40**百万円

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の増加があり、売上高は889百万円(前年同期比140百万円増、同18.8%増)となりました。営業利益は40百万円(前年同期比25百万円増、同167.8%増)となりました。

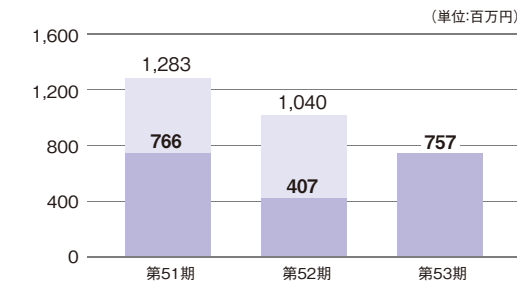
## 財務ハイライト(連結)

■ 中間期 ■ 通期

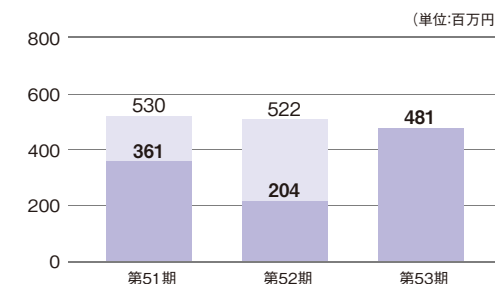
## ■ 売上高



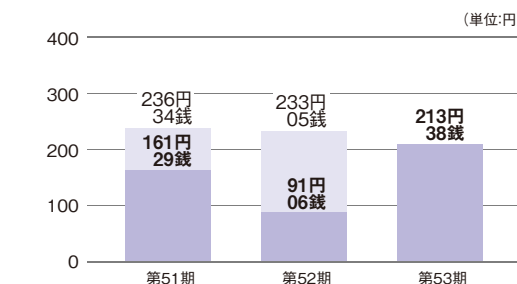
## ■ 経常利益



## ■ 四半期(当期)純利益



## ■ 1株当たり四半期(当期)純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## Point

売上高については、インターナル・マーケティングにおいては海外向け案件を中心として受注状況が順調に推移いたしました。またカスタマーサポート・マーケティングにおいても技術マニュアル制作案件が増加し、前年同期比増収となりました。利益面におきましても、増収影響を受け、前年同期比増益となりました。

## ■ 1株当たり配当金

2010年	2011年	2012年	2013年	2014年(予定)
60円	60円	70円	70円	70円

2014年9月期の配当金は、普通配当70円を予定しております。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期末 (2014年3月31日現在)	前期末 (2013年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,457	7,228
固定資産	4,768	4,928
有形固定資産	2,668	2,698
無形固定資産	999	1,120
投資その他の資産	1,101	1,108
<b>資産合計</b>	<b>13,226</b>	<b>12,157</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,644	1,982
固定負債	1,086	1,105
<b>負債合計</b>	<b>3,730</b>	<b>3,087</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,287	8,922
資本金	550	529
資本剰余金	463	443
利益剰余金	8,273	7,949
自己株式	▲0	▲0
その他の包括利益累計額	201	141
少数株主持分	7	5
<b>純資産合計</b>	<b>9,496</b>	<b>9,069</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,226</b>	<b>12,157</b>

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期 2013年10月1日から2014年3月31日まで	前第2四半期 2012年10月1日から2013年3月31日まで
売上高	8,119	7,180
売上原価	5,663	5,133
<b>売上総利益</b>	<b>2,455</b>	<b>2,046</b>
販売費及び一般管理費	1,740	1,676
<b>営業利益</b>	<b>715</b>	<b>370</b>
営業外収益	43	38
営業外費用	0	0
<b>経常利益</b>	<b>757</b>	<b>407</b>
特別利益	2	3
特別損失	0	0
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>759</b>	<b>411</b>
法人税、住民税及び事業税	256	187
法人税等調整額	19	19
法人税等合計	276	207
<b>四半期純利益</b>	<b>481</b>	<b>204</b>

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期 2013年10月1日から2014年3月31日まで	前第2四半期 2012年10月1日から2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	362	▲306
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲57	▲353
財務活動によるキャッシュ・フロー	59	▲178
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	19
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	390	▲818
現金及び現金同等物の期首残高	3,589	3,599
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	29
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,980	2,811

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

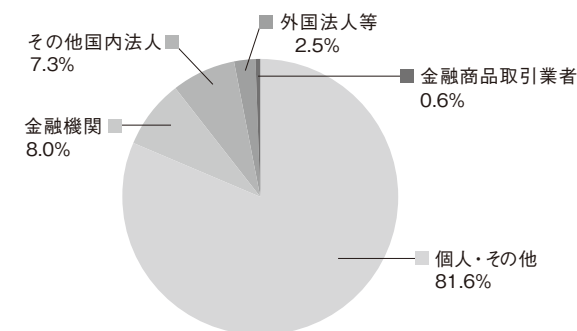
## 企業情報・株主メモ

(※企業情報は2014年3月31日現在)

### ■ 株式の状況

発行可能株式総数	7,970,000株
発行済株式の総数 (自己株式数314株を除く)	2,267,286株
株主数	855名

### ■ 株式の分布状況



### ■ 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
佐々 香予子	468,600	20.67
林 幹治	262,110	11.56
シイエム・シイ従業員持株会	246,180	10.86
林 史子	110,000	4.85
トヨタ自動車株式会社	100,000	4.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	2.65
株式会社三井住友銀行	40,000	1.76
鷲尾 美里	36,600	1.61
株式会社新居浜鉄工所	35,000	1.54
佐々 幸恭	34,140	1.51

※持株比率は、自己株式314株を控除して算出しております。

### ■ 会社概要

商号	株式会社シイエム・シイ
英訳名	CMC CORPORATION
本社所在地	〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号 TEL(052)322-3351 FAX(052)322-9548
設立	1962年5月
資本金	5億5,017万円
従業員	連結809名 単体421名
上場市場	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

### ■ 役員

取締役会長	林 幹治
代表取締役社長 代表執行役員	佐々 幸恭
取締役専務執行役員	大坪 勉
取締役常務執行役員	小林 淑記
取締役執行役員	成田 克己
取締役(非常勤)	龍山 真澄
常勤監査役	小泉 増明
監査役(社外、非常勤)	後藤 武夫
監査役(社外、非常勤)	黒神 聰
常務執行役員	田島 龍司
常務執行役員	近藤 幸康
常務執行役員	窪田 宏
執行役員	奥田 憲二
執行役員	村杉 満
執行役員	大塚 文男

### ■ 連結対象子会社

株式会社CMC Solutions(名古屋市中区)  
丸星株式会社(横浜市西区)  
Maruboshi Europe B.V.(オランダ アムステルダム)  
広州国超森茂森信息科技有限公司(中国 広州)

### ■ 拠点

[ 海外 ]  
アメリカ合衆国(ロサンゼルス)、中華人民共和国(広州、北京、上海)、  
タイ(バンコク)、シンガポール、オランダ(アムステルダム)、  
フランス(ベルサイユ)、ポーランド(ワルシャワ)、台湾(台中、台北)  
[ 国内 ]  
名古屋市中区・中川区、愛知県日進市、東京都中央区、  
大阪市西区、横浜市西区

### ■ 株主メモ

証券コード	2185
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会・期末配当: 毎年9月30日 中間配当: 毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 <a href="http://www.cmc.co.jp/">http://www.cmc.co.jp/</a>

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。